

# 事務事業評価シート（1/2）

1 頁  
令和 7年11月 4日  
14時41分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353010 建築課市営住宅係  
事務事業 02783 市営住宅管理事業

電話番号 0566-71-2240

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	002 1 3 住環境			
施策の取組	005 市営住宅の更新・提供			
事務事業	001 市営住宅管理事業			
事業期間	昭和23年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	ばしょ	マニフェスト		
根拠法令等	公営住宅法、安城市市営住宅の設置及び管理に関する条例ほか			
備考				

【事業分析】

対象	住宅に困窮する低額所得者に対し
目的	低廉な家賃で、整備された住宅を供給します。
手段	住宅管理のための保守、点検及び修繕を行います。 市営住宅の家賃の決定及び徴収並びに空室募集を行います。家賃の決定は、毎年、入居者からの収入申告に基づき行います。高額所得者に対し、早期退居を促します。 毎月、家賃滞納者に納付指導を行います。
事務内容	市営住宅の管理事務、家賃改定事務、収入認定事務、家賃滞納整理事務、高額所得者対策事務など

【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト	295,631	326,103	150,439
事業費	268,571	294,613	117,539
国庫支出金	56,895	36,500	2,900
県支出金	0	0	0
地方債	0	181,000	0
その他	211,676	77,113	114,639
一般財源	0	0	0
人件費計	27,060	31,490	32,900
正規(人)	4.10	4.70	4.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	外部保全改修工事（吹付、大山田東） 外部保全改修工事設計委託（前山、大山田上） その他修繕	外部保全改修工事（前山、大山田上、池浦住宅C棟） 外部保全改修工事設計委託（池浦住宅C棟下水道接続） その他修繕	外部保全改修工事（寒風根） 外部保全改修工事設計委託（東大道） その他修繕

# 事務事業評価シート（2/2）

2 頁  
令和 7年11月 4日  
14時41分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353010 建築課市営住宅係  
事務事業 02783 市営住宅管理事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
修繕実施率	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00
高額所得者の退去率	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性
1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
	供給戸数割合は、他市と比較して大きな差異はありません。		理由

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント ( 400 文字 )	施設保全計画に基づき効率的かつ計画的に大規模な修繕を実施するとともに、各住宅の定期点検を行いながら比較的小規模な修繕をこまめに実施して市営住宅の維持管理に努めます。
2次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント ( 400 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 7年11月 4日  
14時41分56秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353010 建築課市営住宅係  
事務事業 02785 市営住宅建設事業

電話番号 0566-71-2240

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	002 13住環境			
施策の取組	005 市営住宅の更新・提供			
事務事業	002 市営住宅建設事業			
事業期間	平成27年度～令和 6年度	10 年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	安城市市営住宅及び共同施設の整備基準を定める条例ほか			
備考				

【事業分析】

対象	住宅に困窮する低額所得者が、
目的	老朽住宅の建替により、良好な住環境が整備された市営住宅に居住することができます。
手段	整備基準に基づいて、老朽化した市営住宅の建替えを行います。
事務内容	老朽化した市営住宅を建替します。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	39,797	26,641	128,850
県支出金	27,257	11,231	112,750
地方債	6,626	0	22,200
その他	0	0	0
一般財源	20,631	11,231	90,550
人件費計	12,540	15,410	16,100
正規(人)	1.90	2.30	2.30
その他経費	0	0	0

令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
旧井杭山住宅第二期解体工事	(仮称) 井杭山住宅第2棟駐車場造成設計測量及び分筆	本体工事設計周辺道路工事用地購入
【事務事業活動実績】		

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7年11月 4日  
14時41分56秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353010 建築課市営住宅係  
事務事業 02785 市営住宅建設事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
建替事業の進捗率	%	100.00 100.00	0.00 0.61	6.14 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	既存住宅の老朽化により建替が必要です。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	入居住宅への入居希望者がゼロになってしまっています。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
1	予定通り進捗しています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	効果的に実施しています。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	他自治体においても老朽化した住宅の建替を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 (仮称) 井杭山住宅第2棟の建設に向けて進めています。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和7年11月7日  
11時28分26秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353020 建築課建築指導係

事務事業 02786 建築指導事務

電話番号 0566-71-2241

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	002 13住環境			
施策の取組	001 13住環境 その他			
事務事業	003 建築指導事務			
事業期間	昭和58年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	建築基準法、長期優良住宅の普及の促進に関する法律ほか 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・建築指導事務　・建築物バリアフリー進達事務　・建設リサイクル法届出事務　・アスベスト対策費補助事業			
備考				

【事業分析】

対象	長期にわたり市民が
目的	安全に安心して生活できるようになります。
手段	建築物を建造するにあたり、構造・設備などに関する選定基準を審査し、建造後の検査を実施します。 長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備について講じられた優良な住宅の普及を促進するため、当該認定を受けた計画に基づき建築及び維持保全が行われている住宅等を評価します。
事務内容	建築基準法に基づき、建築物に関する審査・検査を行います。 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき、長期優良住宅の認定を行います。 都市の低炭素の促進に基づき、低炭素建築物認定を行います。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	15,529	21,066	28,736
事業費	2,329	2,976	5,636
国庫支出金	0	0	1,150
県支出金	41	54	492
地方債	0	0	0
その他	2,288	2,922	3,994
一般財源	0	0	0
人件費計	13,200	18,090	23,100
正規(人)	2.00	2.70	3.30
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	建築確認申請の審査 1件 民間機関審査物件の 確認 611件 長期優良住宅の受付 認定 301件 アスベスト対策費補 助 0件	建築確認申請の審査 0件 民間機関審査物件の 確認 682件 長期優良住宅の受付 認定 408件 アスベスト対策費補 助 0件	建築確認申請の審査 民間機関審査物件の 確認 長期優良住宅の受付 認定 アスベスト対策費補 助

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和7年11月7日  
11時28分26秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353020 建築課建築指導係

事務事業 02786 建築指導事務

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アスベスト対策費補助金の交付（分析調査）	件	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00
アスベスト対策費補助金の交付（除去等）	件	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
2	新築住宅等のニーズの多い地域です。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	アスベスト対策補助金の補助申請はありませんでした。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	法改正等の情報収集に努め、適正に業務を実施しています。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	県の主催する会議等により情報収集を行い、公平に審査しています		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続  申請された建築物等について、建築基準法を遵守し厳正に審査・検査を行い、安心・安全なまちづくりの形成を目指します。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施  本事業においては、2次評価を実施しません。
2次コメント (400文字)	

## 事務事業評価シート（1 / 2）

3 頁

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

0001353020 建築課建築指導係

事務事業 02787 住宅耐震対策補助事業

電話番号 0566-71-2241

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画				
重点戦略	003 ばしょ				
分野別	003 1 4 防災・減災				
施策の取組	005 防災・減災対策の普及促進				
事務事業	002 住宅耐震対策補助事業				
事業期間	平成20年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	マニフェスト				
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律  平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・住宅耐震診断補助事業　・住宅耐震改修補助事業				
備考					

【事業分析】

対象	耐震結果で倒壊の可能性があると判定された住宅の所有者が
目的	耐震改修して、倒壊しない住宅に改修します。
手段	昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された倒壊の可能性がある木造・非木造住宅を耐震改修して、倒壊しない住宅にする際の改修工事申請書を受け付けます。 窓口及び電話等で耐震改修の相談を受け付けます。 耐震改修計画図等の図書を審査します。
事務内容	昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された倒壊の可能性がある木造・非木造住宅を耐震改修して、倒壊しない住宅にする際の改修工事費を補助します。 窓口及び電話等で耐震改修の相談を受け付けます。 耐震改修計画図等の図書を審査します。

## 【ヨスト】

【コス】	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	28,970	48,011	81,413
事業費	15,770	33,271	62,513
国庫支出金	7,029	14,856	28,042
県支出金	2,554	5,153	10,620
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,187	13,262	23,851
人件費計	13,200	14,740	18,900
正規（人）	2.00	2.20	2.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	木造住宅耐震診断の受付審査 木造住宅耐震改修の受付審査（一般型） 緊急輸送路沿道建築物耐震診断の受付審査 緊急輸送路沿道建築物耐震改修の受付審査 ブロック塀等撤去費補助金の受付審査	木造住宅耐震診断の受付審査 木造住宅耐震改修の受付審査（一般型） 緊急輸送路沿道建築物耐震診断の受付審査 緊急輸送路沿道建築物耐震改修の受付審査 ブロック塀等撤去費補助金の受付審査	木造住宅耐震診断の受付審査 木造住宅耐震改修の受付審査（一般型） 緊急輸送路沿道建築物耐震診断の受付審査 緊急輸送路沿道建築物耐震改修の受付審査 ブロック塀等撤去費補助金の受付審査

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7年11月 7日  
11時28分26秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353020 建築課建築指導係

事務事業 02787 住宅耐震対策補助事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
木造住宅耐震診断の受付審査	件	100.00 29.00	0.00 122.00	100.00 0.00
木造住宅耐震改修の受付審査（一般型）	件	20.00 9.00	0.00 16.00	20.00 0.00
緊急輸送路沿道建築物耐震診断の受付審査	件	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00
ロック塀等撤去費補助金の受付審査	件	80.00 25.00	0.00 36.00	60.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	間接補助のため市へ補助金を申請する必要があります。		
3 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
4 理由	地震による被害を最小にする必要があります。		
5 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
6 理由	啓発活動を行い、木造耐震診断については目標を上回りました。		
7 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
8 理由	戸別訪問を実施しました。		
9 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
10 理由	瓦屋根改修費等補助金を創設しました。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント ( 400 文字 )	この地域は、大規模地震の危険性の高い地域となっており、速やかな地震防災対策の推進が望まれています。このような背景のもと、地震による被害を減らす対策として住宅の耐震化が重要となっています。令和 6 年度は戸別訪問等の啓発活動を実施し、木造耐震診断の申込みが前年を大きく上回りました。令和 7 年度は木造耐震改修補助金の増額を行い、住宅耐震対策補助事業の推進に努めてまいります。
2次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント ( 400 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。
3次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

5 頁  
令和 7年11月 7日  
11時28分26秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353020 建築課建築指導係

事務事業 02998 空き家対策事業

電話番号 0566-71-2241

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	002 1 3 住環境			
施策の取組	006 安全な住環境対策			
事務事業	003 空き家対策事業			
事業期間	平成28年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法			
備考				

【事業分析】

対象	近年、社会ニーズの変化及び産業構造の変化により発生した空き家のうち、適正な管理が行われていない空き家を、
目的	「安城市空家等対策計画」に基づき、解消させます。
手段	空家等対策協議会を開催し、問題のある空き家対策を協議します。 問題のある空き家の現況調査を実施します。 危険な空き家の除却費補助申請を受け付けます。
事務内容	空家等対策協議会を開催し、問題のある空き家対策を実施します。 問題のある空き家の現況調査を実施し、管理がされていない空き家の所有者に対し指導します。 危険な空き家の除却費の一部を補助します。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	17,353	19,809	20,875
事業費	4,153	1,049	1,975
国庫支出金	100	257	625
県支出金	50	128	250
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,003	664	1,100
人件費計	13,200	18,760	18,900
正規(人)	2.00	2.80	2.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	協議会の開催 4回 問題のある空き家を 前年度実績より減少さ せた 78件 除却補助の実施 1 件 安城市第2次空家等 対策計画の策定	協議会の開催 2回 問題のある空き家を 減少させた 94件 除却補助の実施 4 件 管理不全空家等の認 定	協議会の開催 問題のある空き家を 減少させる 除却補助の実施 管理不全空家等の指 導・勧告

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和7年11月7日  
11時28分26秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353020 建築課建築指導係

事務事業 02998 空き家対策事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
空き家対策協議会の開催	回	4.00 4.00	0.00 2.00	2.00 0.00
問題のある空き家件数	件	80.00 78.00	0.00 94.00	115.00 0.00
除却費補助件数	件	5.00 1.00	0.00 4.00	5.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	問題のある空き家への対応は市の事務となります。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	空き家が増加しています。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	予定通り進捗しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
4 理由	空き家の削減に向けて相談会を実施しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	問題のある空き家に対して指導等を行っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	拡充  空き家は今後も増加することが考えられるため、引き続き事業の進捗に努めます。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施  本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 7年11月 6日  
18時22分31秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業 02788 開発指導事務

電話番号 0566-71-2241

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	001 1.2都市基盤			
施策の取組	003 安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	002 開発指導事務			
事業期間	昭和59年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	都市計画法、建築基準法、愛知県開発審査会条例、安城市道路位置指定要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・開発指導事務　・開発審査会への諮詢事務　・道路位置指定事務 令和元年度の事務事業見直しにより、道路位置指定事務を除外しています。			

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	都市計画法に基づく開発許可及び建築許可の許認可事務

## 【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	20,846	21,212	22,205
事業費	56	107	155
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	56	107	155
一般財源	0	0	0
人件費計	20,790	21,105	22,050
正規(人)	3.15	3.15	3.15
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	開発許可20件 開発変更許可3件 建築許可209件	開発許可11件 開発変更許可8件 建築許可245件	開発許可 開発変更許可 建築許可
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和7年11月6日  
18時22分31秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001353030 建築課開発指導係  
事務事業 02788 開発指導事務

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度

## 【定性評価】

順位	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由		法改正等に注意を払い、適正かつ迅速な業務の実施しています。	
	理由		都市計画法や愛知県審査会基準により公平に審査しています。	

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	無秩序な市街化及び開発行為を防止し、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、県より事務委任されている法定事務です。 公平で適正な業務を実施するため、法改正等に注意を払います。
2次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 7年11月 6日  
18時22分31秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業 02789 住宅地開発協議会事務

電話番号 0566-71-2241

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	001 1.2 都市基盤			
施策の取組	003 安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	003 住宅地開発協議会事務			
事業期間	平成28年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	安城市住宅開発事業の手続等に関する条例 平成28年4月1日より条例化されています。			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	概要書受付、近隣住民への説明実施及び公共施設に関する協議の確認、住宅開発協議会の開催（100戸又は1ha以上）、事業計画への同意

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	5,280	5,360	5,600
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	5,280	5,360	5,600
正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	住宅地開発事業 5件 集合住宅開発事業 5件	住宅地開発事業 2件 集合住宅開発事業 2件	住宅地開発事業 集合住宅開発事業

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7年11月 6日  
18時22分31秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業 02789 住宅地開発協議会事務

【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
1	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	国・県・民間等との補完性	必要性
1	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
1	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	市民ニーズの有無	必要性
1	市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
1	地域と調和のとれた快適な住環境を実現するための事業です。	理由	
1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	目標に対する進捗状況	有効性
1	目標を下回る進捗状況である	目標に対する進捗状況	有効性
1	進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性
1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	事業者や近隣住民の動向を確認し、適正かつ迅速に事務を進めます	理由	
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
1	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
1	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
1	他自治体と比較して適正です。	理由	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント ( 4 0 0 文字 )	近隣住民及び町内会等と良好な関係を築き、地域と調和のとれた快適な住環境を実現するため、住宅開発事業に対して適切な指導をします。
2次コメント ( 4 0 0 文字 )	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 4 0 0 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

5 頁  
令和 7年11月 6日  
18時22分31秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業 02790 優良宅地認定・優良住宅認定事務

電話番号 0566-71-2241

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	001 1.2 都市基盤			
施策の取組	003 安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	004 優良宅地認定・優良住宅認定事務			
事業期間	昭和59年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	租税特別措置法、地方税法			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	租税特別措置法、地方税法に係る税の軽減を受けるための認定をします。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	330	335	350
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	330	335	350
正規(人)	0.05	0.05	0.05
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	申請 1 件	申請 0 件	申請受付

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和7年11月6日  
18時22分31秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業 02790 優良宅地認定・優良住宅認定事務

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	県より権限移譲された事務処理です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	コンスタントに申請がある事務ではありません。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
3 理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
4 理由	法改正に注意を払い、適正かつ迅速な業務を実施しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	法定事務であるため、他自治体と同様です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続  申請件数が少ない事務ですが、法定事務であるため、法改正に注意を払い、間違えのないよう慎重に事務を行う必要があります。適正かつ迅速に審査ができるように、常に事務内容の把握をします。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施  本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	